

(別紙1)

○ 平成27年度のバターの需給見込みについて

- 平成27年度については、生乳生産量が回復傾向にあり、バターの生産量も増加する見込み。
 なお、前回(7月)予測と比較すると、生乳生産量及びバター生産量が増加見込みとなった。
- バターの生産量増加や、5月に決定した追加輸入により、バターの年度末在庫量は前年や前々年を上回る見込み。

	25年度		26年度		27年度(見込み)			前回予測 (7月)	
					Jミルク9月25日公表データ		前回予測比		
生乳生産量	744.7万トン	(▲2.1%)	733.1万トン	(▲1.6%)	738.8万トン	(+0.8%)		+6.2万トン	732.6万トン
北海道	384.9万トン	(▲2.1%)	382.0万トン	(▲0.7%)	386.9万トン	(+1.3%)	+0.8万トン	386.1万トン	
都府県	359.8万トン	(▲2.1%)	351.1万トン	(▲2.4%)	351.9万トン	(+0.2%)	+5.4万トン	346.5万トン	
バター	生産量	64.3千トン	(▲8.3%)	61.7千トン	(▲4.1%)	65.9千トン	(+7.0%)	+2.6千トン	63.3千トン
	輸入量	3.5千トン	(▲62.9%)	12.9千トン	(+271.3%)	12.8千トン	(▲1.0%)	—	12.8千トン
	消費量	73.9千トン	(▲1.6%)	74.1千トン	(+0.2%)	75.2千トン	(+1.5%)	+0.4千トン	74.8千トン
	在庫量	17.3千トン	(▲26.2%)	17.8千トン	(+3.0%)	21.4千トン	(+19.9%)	+2.2千トン	19.2千トン

※ 消費量は推定出回り量

※ 在庫量は、3月末現在